

平成20年11月 6日

各 位

アイフル株式会社
 代表取締役社長 福田 吉 孝
 (コード番号 8 5 1 5)
 (上場取引所 東証第1部・大証第1部)
 問い合わせ先 広報部長 小宮勝之
 TEL 03-4503-6050(広報部)
 03-4503-6100(IR室)

業績予想の修正、剰余金の配当（第2四半期末配当）及び 配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表しました業績予想及び配当予想を下記のとおり修正するとともに、本日開催の取締役会において、平成20年9月30日を基準日とした剰余金の配当（第2四半期末配当）について決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

1. 平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	164,567	16,237	16,200	16,518	98.90
今回修正予想 (B)	165,685	7,962	9,054	7,171	42.94
増減額 (B-A)	1,118	△8,275	△7,146	△9,347	—
増減率 (%)	0.7	△51.0	△44.1	△56.6	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	216,502	21,068	21,504	21,475	151.68

2. 平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	312,039	32,892	33,000	31,730	189.98
今回修正予想 (B)	311,140	11,383	12,000	8,599	51.49
増減額 (B-A)	△899	△21,509	△21,000	△23,131	—
増減率 (%)	△0.3	△65.4	△63.6	△72.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	405,784	31,725	32,065	27,434	190.77

3. 平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	93,812	11,336	13,948	16,263	97.37
今回修正予想 (B)	94,122	1,579	4,739	7,609	45.56
増減額 (B-A)	310	△9,757	△9,209	△8,654	—
増減率 (%)	0.3	△86.1	△66.0	△53.2	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	125,211	10,323	13,163	18,409	130.03

4. 平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	176,676	20,898	26,000	30,931	185.19
今回修正予想（B）	175,852	2,576	8,000	11,914	71.33
増減額（B－A）	△824	△18,322	△18,000	△19,017	－
増減率（％）	△0.5	△87.7	△69.2	△61.5	－
（ご参考）前期実績 （平成20年3月期）	233,039	16,957	22,191	27,069	188.24

5. 業績予想修正の理由

（1）個別業績予想数値の修正理由

利息返還金が計画を若干上回る水準で推移していることを受け、当第2四半期において利息返還損失引当金を保守的に積み増し、利息返還関連費用として307億円計上する見込みです。

一方、貸倒関連費用については保守的な計画としておりましたが、利息返還にかかわる貸倒れ以外の減少により、貸倒れ関連費用が163億円減少するほか、その他コスト削減等による費用減少の結果、営業費用全体で100億円程度の増加となる見込みです。

また、過年度法人税等として71億円の還付金があったものの、貸金業法改正の方向性を鑑み、繰延税金資産の取り崩し等により、法人税等調整額が当初計画比66億円の増加によって、四半期純利益は86億円の減少となる見込みです。

以上により当第2四半期累計期間業績予想数値を修正させていただくこととなりました。

また、通期につきましても第2四半期累計期間の業績による影響のほか、現在の経済環境を踏まえ業績予想の修正をいたします。

（2）連結業績予想数値の修正理由

連結の業績予想につきましては、主として個別の業績予想数値の修正を主要因とするものであります。

6. 剰余金の配当（平成21年3月期第2四半期末配当）

配当の内容

	決定額	直近の配当予想 （平成20年5月15日公表）	前期実績 （平成20年3月期中間）
基準日	平成20年9月30日	同左	平成19年9月30日
1株当たり配当金	10円00銭	20円00銭	20円00銭
配当金の総額	1,670百万円	－	2,831百万円
効力発生日	平成20年12月10日	－	平成19年12月10日
配当原資	利益剰余金	－	利益剰余金

7. 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 （平成20年5月15日発表）	円 銭 20 00	円 銭 20 00	円 銭 40 00
今回修正予想		10 00	20 00
当期実績	10 00		
（ご参考）前期実績（平成20年3月期）	20 00	20 00	40 00

8. 配当予想修正等の理由

当社は、当社グループの業績をはじめ、経済・金融情勢等を総合的に勘案し、安定的かつ継続的な利益還元を図ることを配当の基本方針としております。この基本方針のもと、株主の皆様への還元及び株主価値の向上を目指してまいりたいと考えております。

しかしながら、平成21年3月期の配当金につきましては、今回の業績修正に伴い、当期純利益の大幅な減少が見込まれることから、誠に遺憾ではありますが、1株当たり第2四半期末配当を10円、期末配当予想を10円、年間配当予想を20円に修正させていただきます。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上